

広報

Yasato
Public
Information

やさと

11

2001 No.557



ぼくたち

わたしたちの
けっさくです

—小幡小収穫祭— 10/27



おいも食べる？

○町の人口(11月1日現在) 男15,255人 女15,473人 計30,728人(前月比+14) 世帯数8,232世帯(前月比+11)

「住民基本台帳 ネットワーク システム」

住民サービスの向上と 行政事務の効率化

問い合わせ先
住民課 内線1110

デジタル・ネットワーク社会の急速な進展の中で、住民負担の軽減・住民サービスの向上、国、地方を通じた行政改革のため、行政の高度情報化の推進が必要不可欠とされており、住民基本台帳のネットワークシステムは、こうした要請に応えるため、住民票の記載事項として新たに、住民票コードを加えることにより全国規模で本人確認を効率的に行い、更なる住民サービスの向上を図るシステムです。ここでは、システムの概要について説明いたします。

趣旨

各種行政の基礎であり、住民の居住関係を公的に証明する住民基本台帳のネットワーク化を図り、本人確認情報（氏名・住所・性別・生年月日の四情報、住民票コード及び付随情報）により、全国共通の本人確認ができる仕組みを構築しようとするものです。

住民基本台帳のネットワークシステムを導入することにより、高度情報化社会に対応して、住民負担の軽減・住民サービスの向上、国・地方を通じた行政改革を図ることが可能となり、国・地方において、緊縮した財源の中で効率的行政の推進につながります。

住民基本台帳ネットワークシステムの 2つの目的と3つの実現事項



住民基本台帳ネットワークシステムのメリット

住民票の写しの交付申請等（手続き）においては、何ら変わりはありませんが、次のようなメリットが図られます。

▼ 住民の負担軽減とサービスの向上が図れます。

▼ 全国どこの市町村でも住民票の写しの交付が受けられるようになります。

▼ 転入転出の手続きが簡単になります。

▼ 恩給、年金などの現況証明、各種資格の申請時の住民票の写しの添付等の省略が可能になります。

▼ 国・地方を通じた行政改革が進みます。

▼ 市町村の窓口業務の効率化が図れます。

▼ 恩給、年金などの受給者や各種資格の申請者の確認事務等の効率化が図れます。

▼ 受給者や資格者などの現況や住所変更を確実に迅速に把握できます。

「用語の解説」

住民基本台帳ネットワークシステム

改正住民基本台帳法に基づき整備される、市町村の区域を越えた住民基本台帳に関する事務の処理や国の行政機関等に対する本人確認情報提供を行うための全国規模のネットワークシステムをいいます。

住民基本台帳

市町村の住民について、その氏名、出生の年月日、住所等の事項を記載した個々の住民票をもって構成される住民に関する記録を行う公簿で、住民に関する事務処理の基礎となる台帳です。

住民票

市町村の住民について、個人又は世帯単位に氏名、生年月日、性別、世帯主の氏名と世帯主との続柄、戸籍の表示、住民となった年月日、住所、転入者の届出期日、選挙人登録、国民健康保険の被保険者、介護保険の被保険者、国民年金の被保険者、児童手当の支給を受けている者の資格に関する事項などを記載したものをいいます。

住民基本台帳ネットワークシステムを担う関係機関の役割分担

システムの整備にあたっては、住民の個人情報適切に送受信するために、市町村、都道府県及び指定情報処理機関それぞれの組織の役割と業務を明確しておく必要があります。また、大切な個人情報に不正に漏れたり、消されたり、書き換えられたり、壊されたりしないように、高い信頼性・安全性を確保するため、最適なシステム機器をそれぞれの機関に導入します。

市町村

住民の本人確認情報の管理
 国・県への本人確認情報の提供、住民票の写しの広域交付、転入転出の特例処理、住民基本台帳カードの交付など。

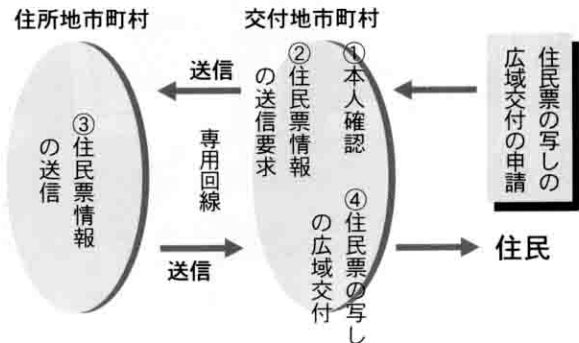
都道府県

都道府県内住民の本人確認情報の記録・保存
 都道府県の執行機関等や指定情報処理機関への本人確認情報の通知など。

指定情報処理機関

全国の住民の本人確認情報の記録・保存
 国の行政機関等への本人確認情報の提供及び提供状況の報告

住民票の写しの広域交付の流れ



全国どこの市町村でも、住民基本台帳カードなどを市町村の窓口で提示することによって、本人や世帯の住民票の写しの交付が受けられます。
 住民票の写しの広域交付を行う場合には、住民票の写しに記載する事項を住所地市町村から送信する必要がありますので、交付を希望する皆さんの請求により最大で8情報（①氏名、②生年月日、③性別、④続柄、⑤住民となった年月日、⑥住所、⑦住所を定めた旨の届出の年月日及び従前の住所、⑧住民票コード）が専用回線を通して住民の住所地市町村から、交付を申請した市町村に直接送信されます。

住民基本台帳カード（ICカード）の概要

カードの特徴

本人確認を確実にするための重要な構成要素であることから、高いセキュリティ機能を持つICカードを採用しています。

カードの交付

希望する住民はだれでも、住民登録をしている市町村で申請すればカードの交付を受けられます。

カードの活用

カードイメージ例



- 住民票の写しの広域交付
- 転入転出の特例処理
- 条例による市町村独自の利用

市町村が条例で定めるところにより、カードのメモリの空き領域を活用して必要な情報を記録し、多目的に独自の行政サービスを行うことができます。（印鑑登録証明、福祉サービス等）
 ● 窓口における本人確認
 市町村の窓口において、居住する市町村の住民であることを確認できます。
 ● 市町村民証明書
 写真付きのカードは、市町村民証明書として活用することも可能となります。

住民基本台帳ネットワークシステムのスケジュール

- 一次稼働 平成十四年八月予定
- 住民票コードの住民票への記載
- 市町村長から都道府県知事への本人確認情報の通知
- 都道府県知事から指定情報処理機関への本人確認情報の通知
- 指定情報処理機関から国の行政機関等への本人確認情報の提供
- 二次稼働 平成十五年八月予定
- 住民票の写しの広域交付
- 転入転出の特例処理
- 住民基本台帳カードの交付

住民票コード

国・県等の行政機関が、本人確認情報の適格・迅速な検索と確実な本人確認及び個人情報の管理を行うための、無作為に作成された十二桁の数字のことをいいます。

住民基本台帳カード

氏名、住民票コード等が記録されたICカードで、住民が申請すれば交付が受けられます。

転入転出の特例処理

住民基本台帳カードの交付を受けた方が、他市町村に転出する場合、窓口には転入地市町村に一回出向くだけでよくなります。

指定情報処理機関

都道府県の「本人確認情報」の処理事務の一部を行うため、総務大臣により指定された機関で、平成十一年十一月に、財団法人地方自治情報センターが指定されました。

次号では、住民基本台帳ネットワークシステムの運用の流れと個人情報保護のための施策などについて説明します。

『高齢者の居住の安全確保に関する法律』が制定されました。

茨城県土木部都市局住宅課
 〇二九(三〇二)一一一一
 役場都市計画課
 内線 一一六四

高齢になると、階段やお風呂など家の中でけがをするのではないかと、賃貸住宅への入居を断られるのではないかと、といった住まいに関するさまざまな不安が生じてきます。

この法律は、高齢社会の急速な発展に対応し、良好な居住環境を備えた高齢者向けの住宅の供給を促進するとともに、高齢者が入居できる賃貸住宅の情報を提供するための制度を整備することにより、高齢者が安心して生活できる居住環境を実現しようとするものです。



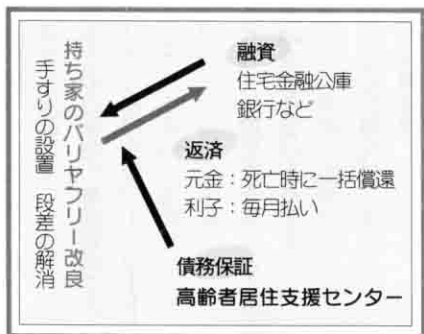
高齢者向け優良賃貸住宅の供給の促進

バリアフリー化された高齢者向け優良賃貸住宅を建設したり、既存の住宅を高齢者向けの優良賃貸住宅とするためにバリアフリー・リフォームしたりする場合、国・地方公共団体からの補助や税制上の優遇措置（新規建設のみ）が受けられる制度。次のような補助が受けられます。

- 住宅の共用部分（廊下、階段など）、バリアフリー設備などの整備費に対する補助
- 低所得者の高齢者世帯に対し家賃減額を行った場合、その家賃減額費用に対する補助
- 固定資産税の軽減や所得税・法人税割増償却

高齢者の持ち家のバリアフリー化を推進

高齢者が自ら居住する持ち家をバリアフリーに改良する場合、ローンの返済を軽くする住宅金融公庫の特別の融資制度ができました。この制度を利用すれば、最大五百万円までの融資を受けることができます。生存時は利子分のみを返済し、死亡時に住宅資産などを活用して、ローンを一括償還することができます。また、この融資制度には、高齢者居住支援センターが債務保証を実施します。



終身建物賃貸借制度

賃貸住宅に居住する高齢者は、少なからず家主からの立ち退き要求に対する不安を抱えています。高齢者が賃貸住宅に安心して住み続けられるしくみとして、バリアフリー化された住宅を高齢者の終身にわたって賃貸する事業を行う場合に、県知事の認可を受けて、賃貸借契約において、賃借人が死亡したときに終了する旨を定めることができることとしています。



登録・閲覧制度

高齢者の方が安心・円滑に入居できる賃貸住宅の情報を広く入手できるようにします。

登録

★賃貸住宅の貸主は、県知事又は県の指定登録機関に、高齢者の方が安心・円滑に入居できる賃貸住宅（高齢者円滑入居賃貸住宅）の登録を申請することができます。

貸主

（高齢者円滑入居賃貸住宅）



登録の申請

県知事又は指定登録機関
（県知事が指定した登録機関）



登録簿に登録

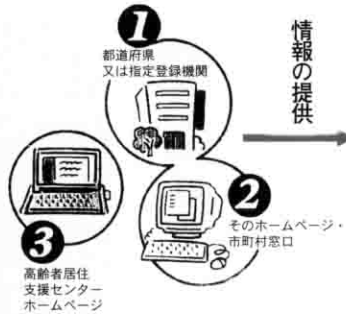
閲覧

★登録情報は、県又は県の指定登録機関の窓口及びそのホームページで、誰でも見ることができます。また、高齢者居住支援センターのホームページを見ることができます。また、全国の登録情報の閲覧も可能です。

入居希望者



情報の提供



家賃債務保証制度

高齢者の方の入居をバックアップ！
登録住宅の貸主、入居を希望する高齢者が利用できる制度です。

貸主側が最初に行う手続き

★高齢者居住支援センターと基本約定を締結していただきます。

登録住宅の貸主



基本約定締結の申込み

基本約定の締結

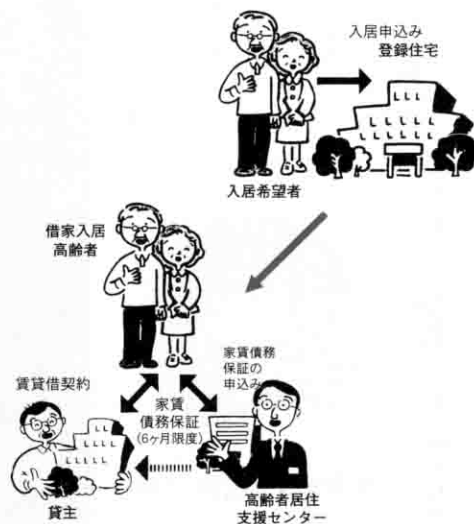
高齢者居住支援センター



高齢者居住支援センター

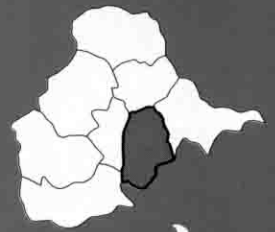
保証利用希望の際の手続き

★入居申込みの際、同時に、高齢者居住支援センターに家賃債務保証の申込みをさせていただきます。
★高齢者居住支援センターが月額家賃（共益費、管理費を含みます。）の六か月を限度に家賃の支払義務を保証いたします。
★月額家賃の三十五割に相当する額を、二年間分の保証料としてお支払いいただきます。



お年寄りの住まい探しを応援します。

「高齢者円滑入居賃貸借住宅の登録・閲覧制度」「家賃債務保証制度」がスタートしました。



わたしたちのまち わたしたちが守る

先月号の六分団に続き、今月号は林地区Ⅱ七分団の紹介をします。七分団では、十月十三日林地区公民館を会場に、消防活動についての座談会を部長、班長、団員と、消防活動へ陰ながら協力いただいているご夫人方に集まっていただき行いました。座談会の内容を一部要約して紹介します。

第七分団座談会

富田重雄分団長 みなさん本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から七分団の座談会を始めたいと思います。今回は、団員のほかに、団員を陰で支えているご夫人方にもおいでいただいております。

白井哲夫副分団長 では、はじめに消防団活動全般について各部長さんにお話しいただきたいと思えます。

島田良一部長（一部） 管轄は根小屋です。活動としては、第一日曜日と第三日曜日の点検、町の消防操法大会、秋季訓練や出初め式などになっております。一部につきましては、団員の勧誘に関しても、快く引き受けていただき、スムーズに活動しています。
大山敏行部長（二部） 自動車です。

五名の団員で、下林、上林、前島、大坪を管轄しております。昔に比べると火事の出勤回数も減りました。二部では団員の勧誘は非常に厳しく、問題となっております。途中で退団する団員もいました。これからは地域ぐるみで勧誘も行っていただけたらと思います。

市塚孝夫部長（三部） 片岡本田南部と浦須、嘉良寿理、片岡北部を管轄しています。点検時には、団員の集まりがあまり良くないという現状があります。

岡田文雄部長（四部） 飯塚、里戸の内、関根を管轄しています。以前は飯塚だけで十五人の団員を確保していたのですが、五年前からは平均に入団してもらおうようすすめています。
副分団長 では次に団員のご夫人方に、消防活動を見てきてどうだった



富田重雄分団長 (下林)

第七分団長 富田重雄

第七分団は、林地区の中で第一部は根小屋、第二部は下林、上林、前島、大坪、第三部は片岡、浦須、嘉良寿理、第四部は飯塚、戸の内、里、関根を持ち区に、自動車ポンプ二台、小型ポンプ二台、総員五十二名で活動しています。月一回の点検と巡回を行い、公民館が主催する体育祭への参加など、地域住民とのふれあいも大切に行っています。これからも団員一丸となり消防活動に努める次第です。地域のみなさまには日ごろより消防活動における理解とご協力をいただき感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。



島田良一部長



大山敏行部長



市塚孝夫部長



加藤嵩公民館長



額賀正夫班長



鈴木重度班長



鈴木充男班長

団員の 職場を訪ねて

「父親と田舎で農業をしたいと家族全員で東京から八郷町に越してきて今年で五年がたちます」と話す山下幸幸団員(三部)。現在、八郷町農業協同組合の営農流通センターに勤務しています。もともと消防団には興味があったそうですが「消防団に入り仲間が増えたことと、上下関係や規律が学べたことは人生のプラスです」と語ります。



か意見・感想をお聞かせ願います。
市塚孝夫部長夫人昌子さん 消防の操法大会には私たちもお手伝いに行くのですが、やはり地元が一体となって応援することが必要だと思います。
額賀誠一班長夫人恵子さん 主人は自営業を営んでいます。土、日関係なく働いているので消防活動にはなかなか都合がつかないところがあり、団員のみなさんにはご迷惑をかけるところでです。
額賀正夫班長夫人幸恵さん 職業は色々ありますよね。会社員でも勝手に休むことは難しいと思います。私は消防に対する認識がありませんので意見を言うことはできませんが、これからも協力はしていきたいです。

防では縦のつながりもできずし、地域に参加していくことが何よりすばらしいことですよ。
鈴木充男班長夫人緑さん 主人も仕事と消防の両立は大変だと思います。体が心配になりますね。
甲雅勝班長夫人千代さん 新入団員の勧誘では主人も苦労しているようですが、消防団に入団してからたくさんの仲間ができて、地域とのつながりが持てたことはよかったと思います。これからも頑張ってもらいたいです。
島田良一部長夫人智恵子さん 操法大会に出た年ですが、操法の練習のために主人は会社を休んだこともありました。さすがに大変だと思いましたが、さすがに大変だと思いません。

ができるよう願っています。
加藤嵩林地区公民館長 会社自体が八郷町には少なく地元勤めることが難しいという現状が、消防団への意識を薄れさせているのではないのでしょうか。また、消防団勧誘についてですが、親の同意も必要な場合が出てきますよね。やはり親を説得するには地域の区長さんや班長さんの力を借りて一緒に勧誘に歩いてもらうことも一つの方法だと思えます。また、公務員が消防団に入れないということも以前から疑問に思っていました。みんなで地域が守れるような体制づくりをしていかななくてはと思います。
額賀正夫班長(四部) 勧誘については子どもよりもその親に断られるケースが多いですね。年上の人を説得することは難しいです。区長さんや班長さんに協力してもらいながら勧誘に歩く方法がベストではないかと思えます。
額賀誠一班長(四部) 一番大変なのは消防の操法大会の選手選抜だと思います。操法をおぼえるためにもなるべくなら新入団員の方に

出場してもらいたいのですが、仕事の都合がききそうな人をお願いしてしまうのが現実です。
鈴木重度班長(二部) 二十代後半ぐらいの方を勧誘していったほうがいいと思います。勧誘には年齢の近い団員が行くとスムーズにいくのではないのでしょうか。
甲雅勝班長(二部) 消防団は楽しんでぞというイメージをみなさんに持つてもらいたいのではないのでしょうか。
田中喜義団員(一部) 根小屋の場合は勧誘に行つて断られたことはあまりないですね。地域の協力体制ができています。
鈴木充男班長(三部) 私がずっと感じてきたことは、親が一生懸命にやってきたことを子どもになぜ伝えられないのだろうかということです。子どもに伝えていくことが大人の義務だと思います。
分団長 確かにそうですね。私たちが率先して小学校の防火訓練などに参加し、将来を担う子どもたちにも、消防団員の姿を植え付けておくことは将来の消防団にとって必要なことかもしれません。

「消防団に入団してからは責任感が強くなりました」と島田良一部長(一部)は話します。石岡市の東日京三電線(株)に勤め、光ファイバーをあつかった仕事をしています。「消防団では今年の四月から部長になり、まとめることの大変さを知りました」と語ります。「この経験が社会の中で生かされるよう努力していきます」。



岡田文雄部長



白田龍滋区長会長



額賀誠一班長



甲雅勝班長



田中喜義団員



マジックショーを見ながら「すごいねー」。



子どもフェスティバル始まるよ。



たくさんの人が集まったね。



八郷音頭は指の先にも
気を使うのよ。

八郷ふれあいまつり 子どもフェスティバル

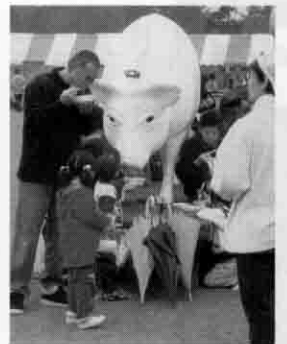


スタミナがつくよー。



えいっ。

10月28日総合運動公園を会場に第12回八郷ふれあいまつりと、
第5回子どもフェスティバルが開催されました。会場では八郷音頭
の踊りや阿波踊り、郷土芸能、キャラクターショーなどが行われ、
終日賑わいをみせました。カメラを通して会場の様子を紹介します。



ぶたさんと一緒にお昼たべよっ。



甘くておいしい。



わたしたちきまつてる？



獅子のお口の中には何があるのかな。



だれがひっかったの？



抽選会で当たったよ。



門倉有希歌謡ショー



べったんこ、べったんこ。

平成十三年第二回八郷町議会臨時会

平成十三年第二回八郷町議会臨時会が十月十五日開催され、橋梁下部工事請負契約案件が、原案どおり可決されました。契約の内容は次のとおりです。

- 契約の目的 橋梁下部工事
- 契約の方法 指名競争入札
- 契約金額 八千三百七万五千円
- 契約の相手方 八郷町大字半田一九六一番地
(株) 関組 代表取締役 関 行雄

工事の概要

今回の工事は、片野地内からフラワーパークに通じる町道と、加生野地内で交差する川又川に架ける新設の橋(橋長二十二メートル)、橋台工事と護岸工事です。
橋が利用できるようになるのは、平成十六年度中を予定しています。



「橋の名称」を募集します

役場建設課では、この橋の名称を皆様から募集いたします。採用された二名には、記念品を贈呈いたします。なお、採用した名称に多数応募があった場合には抽選で一名といたします。名称の決定は、平成十四年四月を予定しています。

応募は、官製はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号・「橋の名称」一点を明記の上、左記の要領で応募してください。

《応募先》

〒三二五〇一九五 八郷町大字柿岡五六八〇一
八郷町役場 建設課「橋の名称」係

《応募期間》

平成十三年十二月一日～平成十四年三月三十一日
(当日消印有効)

《問い合わせ先》

役場建設課 内線二一八四

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

新春風雅まつり 冬のバラまつり

茨城県フラワーパークでは「新春風雅(ふうが)まつり」と「冬のバラまつり」を開催いたします。

● 新春風雅まつり ●

開催期間 一月三日(木)～
一月六日(日)

期間中の催し物

「北村馬骨(ばこつ)書色紙プレゼント」 一月三日(木)～
一月五日(土)

八郷町在住の北村馬骨先生の直筆色紙、短冊をチャリティーでプレゼント。

「北村馬骨書展」 一月三日(木)～
一月六日(日)

書家北村馬骨氏による作品展。

「お年玉プレゼント」

一月三日(木)～一月六日(日)
入園されたお客様にプレゼントいたします。

「冬のボタン展」 一月三日(木)～
一月六日(日)

冬のボタンを展示し観賞していただきます。

「洋ラン特別販売」 一月三日(木)～
一月二十日(日)



人気のシンビジュウム、カトリア等、各種洋ランをお手頃価格で販売いたします。

「写真コンテスト入賞作品展」

一月三日(木)～一月三十一日(木)
園内スナップ写真や「モデル撮影会」の作品等を募集した「第十四回フラワーパークアマチュア写真コンテスト」の入賞作品を展示。

「園芸教室(洋ランの楽しみ方)」 一月六日(日) 十三時三十分～
洋ランの楽しみ方についての講話と実技指導を行います。

● 冬のバラまつり ●

開催期間 一月十二日(土)～
一月二十日(日)

期間中の催し物

「冬バラ展」

一月十二日(土)～
一月二十日(日)
冬に咲くバラを展示し観賞していただきます。

「園芸教室(バラの剪定法)」

一月十三日(日) 十三時三十分～
バラの剪定についての講話と実技指導を行います。(受講料無料)

穂積家のカヤ

道幅が広がって、車も通りやすくなった鯨岡から小山田への道。

道沿いの集落とつぎの屋敷が穂積家だ。南と東側に長く石垣を巡らした屋敷から、天を衝くカヤの巨木が見えてくる。花崗岩の門柱を入ると、広い庭に主木のカヤが、ほかの庭木を見下ろすかのように立っている。根元に赤い実の南天があり、大きな石灯籠塔が据えられ、隅々まで入念に手入れされたさまに、まず驚かされた。二年ごとのカヤの剪定には、庭師三人手間が要るそうだが、これほどのカヤが庭木としてあること自体珍しい。しかも周りの庭木と違和感なく溶け合っているだけでなく、むしろ巨木の風格が庭に箔をつけているようにさえ思えるから不思議だ。



所在地 小山田242
 管理者 穂積 彪
 樹種名 カヤ《イチイ科・カヤ属》
 胸高周 2.8m
 樹高 15.9m

樹齢は定かではないが、四十年前に庭木として仕立て始め、それまではカヤ本来の自然木の姿で繁茂し、枝張りには十畳に及び、樹の下では昼でも薄暗かったという。「子どもらのいい遊び場で、枝から枝へ猿のように遊び、雨でも降り出すと、庭の干し藁を急いで樹の下に取り込んだものです」と懐かしそうに当時を振り返られる穂積さん。それだけにこの樹に対する思いには特別なものがあるようだ。寄る年波に勝てず、幹に大きな洞が出来ていたが、今は樹肌色に染めたモルタルで巧く塞がれている。穂積さんがワイヤーブラシで洞の腐食部分をかき出し、中に殺菌と殺虫剤を吹き込み、石を積んで、松煙（松を燃やしてつくったスス）を混ぜたセメントを塗り

付け、洞を埋めたそうだ。さすがに元農業普及員を務められた穂積さん、樹木医顔負けの研究心と外科手術振りに改めて感心させられた。雌株ゆえ、何年かごとに四五升のカヤの実が採れたそうだ。かますの上で足揉みして外皮を取り、熱灰の中に入れてあくを抜き、天目に干してから炒って食べると、香ばしくて美味しかったという。

栗の実でさえ、剥くのが面倒と敬遠されるご時世に、じまつにカヤの実を食べたことが、物語の中に出てくる話のように響いてくる。カヤは宮城・山形県以南から四国・九州の産地に生え、葉は刺状になって触れると痛い。アーモンド形の種子には油成分が多く含まれ、かつては灯火用油などに使われた。しかし、何と云ってもカヤといえは碁盤や将棋盤であろう。その道の達人の話によれば、対局も佳境に入り、駒を打つ手につきしか力が入る。盤上に駒を強くたたき打った時の衝撃を優しく吸収してくれるものに、カヤに勝るものはないのだという。バブル期の話であるが、本物の国産碁の「将棋盤目八寸盤」には乗用車一台の値が付いたといわれ、好事家にとってはまさしく垂涎（すいぜん）の的であったようだ。

やさきと巨樹の会会長 小林文男

●最近気になる病気

肉離れ

石岡市医師会病院
 整形外科 大野 達郎医師



肉離れは捻挫ほど頻度の高いものではないませんが、一度発生すると再発をくり返しやすくて厄介なスポーツ外傷のひとつです。トップスピードで走っている時や、ジャンプ、キックなどの際に「ピシッ」というような感じで突然筋肉が痛くなり、転んでしまったり走れなくなったりする事があります。このようにして起こる肉離れは急激な外力によって筋肉の一部あるいは筋肉をおおっている筋膜が切れたと考えられており、発生原因としては疲労の蓄積、準備運動不足、寒冷時などの筋肉が固くつばついている状態、くり返しの外傷による抵抗減弱部の存在などが考えられます。

大腿後面（ハムストリング）に最も多く、大腿前面（大腿四頭筋）、大腿内側（内転筋）、ふくらはぎ（下腿三頭筋）などによく起こりますが、腹筋や肩甲部の筋に起こることもあります。

症状としてはその筋肉をのばそうとすると痛む（伸展時痛）などがみられます。程度により、腫れや内出血があり、走る事ができず、歩行にさしかえることもあります。直後の処理としては「RICE」（安静、冷却、圧迫、挙上）を行い肉離れの心配があるときは専門医（整形外科）へ行くことをおすすめします。スポーツ選手の場合、復帰を急ぐために再発をくり返す例が多く、これはハビリ段階における運動の進め方の失敗がその原因といえます。

慢性化した場合は正常の筋組織の中にかたい瘢痕組織がこり、痛みと運動障害を起こし、場合によってはこの部分を手術的に取り除く必要もでてきます。

「そのうち治るだろう……」と一人で治そうとするより、専門医で治療を受けながら徐々にトレーニングを行い、確実に治すように心がけましょう。

八郷の歴史 (7)

嘉永五年半田村江戸収納米 出訴一件 — 小出知行所の百姓 撰 —

元禄十一(二六九八)年に半田村(小椋地区)は幕領から旗本領に変わった。小出・伊丹・小菅の三人の旗本が領主となった。持高はそれぞれ二百九十四石余であった。旗本小出氏の名主は、原田一門の伝左衛門家が古くから勤めていた。伝左衛門家は、小出氏の割元名主(小出領全体の名主)を勤めたり、幕末期に柿岡村五十三ヶ村組合村の大惣代を勤めたりした当地方切つての名門である。現当主原田文普家には多くの古文書が残されている。その中の「嘉永五年十一月用留」(厚さ3cm)を取り上げたい。これは割元名主原田庄次郎が三ヶ月間詳細に記録した「江戸収納米出訴一件」である。嘉

永五(二八五二)年十月末に小出領半田村・大橋村(石岡市東大橋)・岡村(つくば市東岡)三ヶ村に年貢米の引き渡し価格を高浜河岸の地払相場から値段の高い江戸相場に替えるように小出氏が命じたことから、事件の発端が始まる。この年は不作で、三ヶ村から年貢の減免願も出されていたが、小出氏は国元相場両に七斗替ではなく、両に六斗一升替の相場で年貢増徴を強行しようとした。小出氏は十一月七日までに年貢を納めるよう命じた。十一月五日に三ヶ村から廻米蔵米日延願が出された。江戸の旗本屋敷では出府した組頭忠兵衛が用人から責められ、六斗替相場で三ヶ村二百俵の年貢を納め

る請書を出してしまふ。同月十五日には伊丹・小菅両氏の名主も出府し、年貢減免の嘆願書を出す。こうした村ぐるみの闘争に対して、小出氏は、原田庄次郎の名主罷免、養父伝左衛門の隠居米取上を強行する。名主は孫兵衛に替えられた。同月二十五日に用人林竹次郎(実は旗本小出氏の次男が来村する。二十八日には竹次郎の命令で年貢米九十六俵が両に七斗六升替で地払がなされた。十二月五日に岡村名主らが竹次郎に庄次郎らの救免を願出たが、聞き入れられなかった。竹次郎は筑波山参詣、免追などの豪遊を続け、村の出費が重なつた。十二月末にも嘆願は聞き届けられず、竹次郎も江戸へ帰らず、正月を迎えることになつた。問題解決の糸口を見い出すことができず、困り果てた半田村の百姓たちは二月三日に糞笠の出

で立ちで旗本小出氏に訴えるべく、江戸表に出立した。三日の午後伊丹氏の役人衆、四日には小出氏の百姓代が百姓たちの江戸への訴訟を阻止するため、荒川宿・牛久宿まで追いかけて、百姓たちを引き戻す。しかし、江戸への強訴未遂は絶大な効果があつた。同月七日に来村の竹次郎に旧村役人の復帰、江戸相場での仕法替中止、竹次郎の長期滞在中止を三ヶ村百姓代相給役人が訴えた。その結果、竹次郎と江戸表から旧村役人の救免と復期がなされ、仕法替も中止になり村に平和が戻つた。ところが村を去つた竹次郎は稲吉宿皆川屋に止宿し、下女(飯盛女)いとと心中事件を起こす。竹次郎が死ぬ前に「いとと一緒に葬つてくれ」と頼んだが、用人の許可が得られなかった。全く哀れを誘う話である。

町史編さん専門員 近世・栗原 亮

わたしの手料理

かぼちゃの

鶏もも肉からいめ



食生活改善推進員 萩原 良子(上林)

【材料】(4人分)

●かぼちゃ 600g ●鶏もも肉 200g
●だし汁 1・1/2カップ ●砂糖 大さじ3
●みりん 大さじ1 ●塩 小さじ1/4 ●うす口しょうゆ 大さじ2 ●青ジソの葉 4枚

【作り方】

①かぼちゃは種を取って皮を薄く削り取って3cm角に切る。②鶏肉は包丁で2~3枚にそぎ、縦に細く切つてさらに細かく刻み包丁でミンチ状にたく③かぼちゃをさつと洗つてたっぷりの水で火にかけて、煮立ったら中央で5分ほどゆで、七分どおり火が通ったら湯を捨てて再度火にかけてだし汁と鶏肉を加えてさつとかき混ぜて肉をほぐす。④調味料を加えてやや甘口に味付けし、木じゃくして時々上下を入れ替えるような感じで混ぜ汁が少なくなるまで煮つめる。⑤④を器に盛り、青ジソの葉を細切りにして上に添える。

※かぼちゃが煮くずれしたときはミキサーにかけてお好みの味付けでポタージュにしてもおいしくいただけます。

わが家のアイドル

小幡

桜井 萌々香ちゃん

平成11年5月19日生まれ

父 茂さん 母 真由美さん

♥ 家族からの一言

おっとりとした気持ちの優しい子です。お家の中ではパズルをしたり、本を読んだりして遊び、外ではシャボン玉を飛ばしたり、三輪車に乗ったりします。最近ママのお手伝いもしてくれます。健康な子に育ってほしいですね。



P.N 水無瀬 侑英



P.N テレビ・ジョン



P.N 飛空



吉生 菊地 紘美



P.N 奈月さくら

春の ひろ場の わたしも一言

今年の中秋の名月の十五夜様はあいにくの雨で眺めることはできませんでしたが、お供え物を感謝の心を込めて作りました。私は七夕様には星に、十五夜様には月にご馳走と歌を捧げます。私も八十歳、来年のことは分かりませんが、今年の十五夜様は豪華にしました。長い人生の中で月や星がどんなに私を慰め、叱り、励ましてくれたことでしょうか。若き日、月や星を仰いで泣いたことが幾度あったことでしょうか。岐路に立って、迷って泣く私を癒し、人の道を踏み違えることなく今の幸せをくれたのは月や星です。家に入り、寝ている子の髪をさすり、頬ずりして「私にはこの子がいい

習字コーナー

評 書道研究 翠岳書院 関 翠邱

柿岡小二年 大沼 光 柿岡中二年 小貫利行

二年 大沼光
半分

中二 小貫利行
尊命

元氣いっぱい書いてたのめしい作品です。これから基本が身につく、さらにに上手になるでしょう。

筆使いが良く、気分が大きく、しつとりとしたすばらしい作品です。

私の宝はこの子だ。この子のためならどんなことでもできる」と勇気がわいたのです。残り少ない年月を毎日最上の日として力いっぱい生きて行くうと思っております。匿名

松茸を 食べてニッコリ いい香り
有明中一年 鈴木竜介
冬の海 だれもいなくて かわいそう
有明中一年 柘植俊紀
雪の日は きらきら光る 通学路

夜空を見上げると悩んでいることもちっぽげに思えてきませんか。八郷の夜空は本当にきれいですね。広報係
有明中学校の生徒さんから寄せられた俳句を、紹介します。

有明中一年 友部仁美
夏の日の あの娘の背中は 今どこに
有明中一年 比気芳則
おとし玉 期待したけど だめだった
有明中一年 藤井尚之
何回も 掃除したって 枯れ葉また

また計算 なん門もらえる お年玉
有明中一年 石田真之
秋の夜 月が丸いよ うさぎさん
有明中一年 宇田裕泉
お年玉 いくらたまるか 楽しみだ
有明中一年 海野友美

有明中二年 藤岡 優
冬いやだ 洗たく物が たまるから
有明中一年 前沢知美
紅葉の 葉がかなで合う 風の詩
有明中二年 吉田佑子

全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 164

3つの答えの中から正解を選びハガキに書いて送ってください。

①住民基本台帳のネットワーク化で住民票に住民票コードが記載されるのは何年の8月から？

A-平成14年 B-平成15年
C-平成16年

②加生野地内の川又川に架ける新設の橋の橋長は何メートル？

A-12m B-22m C-32m

③10月7日に行われた町民武道大会は何種目で競技されたのでしょうか？

A-3種目 B-5種目 C-7種目

[応募の方法]

☆ハガキに広報クイズ164と書き、答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢、世帯主と「私もひとこと」へのご意見や広報の感想などを書いて送ってください。イラストやマンガも大歓迎。

☆締切日 平成13年12月20日
(当日消印有効)

☆応募先 〒315-0195八郷町柿岡5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙12月号

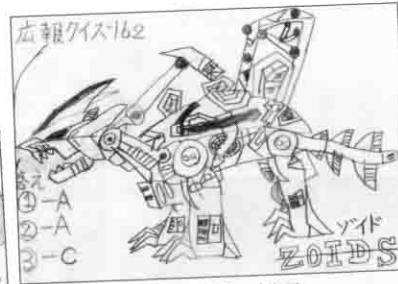
[広報クイズ162の当選者の発表]

正解は①-A、②-A、③-Cでした。応募総数46通、正解46通の中から次の10人が当選しました。

入江悠(大増) 大沼宏子(大増)
枝千尋(柿岡) 杉山はつ(柴間)
鈴木康哲(柿岡) 関耕平(青田)
竹越萌野(中戸) 真家三英(真家)
溝上平三郎(柿岡) 森田恭江(下林) [敬称略]



P.N SKY.



青田 関 耕平



月岡 萩原 志づ



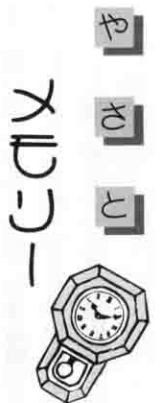
P.N ラブピカX

●やさと文芸

天寿どこまで卒寿の今は妻と白寿に賭ける夢	愛が実つて拳式も間近運命嬉しい夫婦道	仰ぐ山並切り立つ岩に支え合つてる夫婦松	俳句	短歌	大塚 誠選
下林 白田 正源	下林 吉川 霞郷	下林 加藤 弥生	綿引 鼓峰 選	山崎 荒井 幸子	
			下林 鈴木 邦翠	小春日の土手に真白きお茶の花清らかに咲いて深みゆく秋	
			瓦谷 山崎 景子	秋風に黄金波打つ田園をながめし面に夕日まぶしく	
			青田 田上 岳尾	月岡 萩原 照子	
			鈴木 弦月 選	真家 高木 初穂	



お正月に玄関などに飾られるしめかざり。以前は八郷町でもしめかざりを作る方が多くいたようです。(昭和四十七年当時)



「まち」の話「題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の話題をおよせください
 (連絡先・秘書広聴課 内線 一三四三)

秋の叙勲 勲五等双光旭日章

元八郷町消防団団長 舟橋 保さん (柿岡・78)

十一月三日付けで発表された秋の叙勲で、柿岡の舟橋保さんが晴れの榮譽に輝きました。

舟橋さんは、昭和十五年、柿岡町消防組消防手から始まり、柿岡町警防団員、柿岡町消防団員、八郷町消防団員、班長、分団長、副分団長を経て、昭和四十九年に八郷町消防団団長に就任し、昭和六十一年までの四十六年間、消防活動に尽力され、地域住民を数々の災害から守ってきました。舟橋さんは消防の任務

は防火思想の普及と予防消防の徹底にあると常に住民にアピールし、防犯運動とあわせて「火の元、戸締り」の啓発を行い、空気が乾燥する冬には巡回や予防チラシを配布するなど「火の用心」を徹底させ、各家庭の防火思想の高揚に努めました。人生のほとんどを消防に身を投じ、奉仕の精神をモットーに地域に貢献してきた舟橋さん。このような精神は現在の消防団員のみならずにも受け継がれていることでしょう。

菊地四郎顕彰

大里進士さん (大塚・61)

菊地四郎顕彰式が十一月三日、役場を会場に行われました。

受賞されたのは、大塚の大里進士さんで、大里さんは毎年、町道沿いの雑草除去作業や空き缶拾い、ごみ集積所など、地元環境整備に努め、住民の模範となつていきます。

大里さんは「このような立派な賞をいただき本当にうれしく思います。これからも地元貢献していきたい」と受賞の喜びを語りました。



婦人消防隊全国大会へ

十月十八日に全国女性消防ポンプ操法大会が神奈川県にある横浜市防災訓練センターを会場に行われました。

茨城県の代表として、八郷町婦人消防隊のみなさんが大会に臨みました。

同婦人消防隊は、今年の三月に結成され、田村礼子隊長率いる八人のメンバーで活動しています。全国大会に向け、熱心に操法訓練を行ってきました。

大会当日の天気は雨。最悪のグラウン

ドコンディションでした。

しかし、選手のみなさんはこれまでの練習の成果を発揮しようと、精一杯の力を出し切りました。惜しくも入賞することはできませんでしたが、競技が終わった後、涙を流し抱き合う選手のみなさんの姿が印象的でした。

なお、婦人消防隊では「宝くじ助成事業」によりD-1級軽可搬消防ポンプを取得し、同大会でも活躍をみせました。

ときめき

ティータイム

大槻さつき(東成井・23歳)さん
 八郷町農業協同組合の流通センターに勤務し、今年で三年目になります。休日は買い物に行ったり、遊園地などに行ったりします。お金がたまったら国内の温泉めぐりをしてみたいです。



第七回県議杯ターゲット・バードゴルフ大会

九月十五日

総合運動公園で三千四人の参加で行われました。試合の結果は次のとおりです。

- 男子の部▽優勝 底光男(上曹)
- ▽準優勝 梶原時雄(山崎)
- ▽三位 潮田敏(大塚) 女子の部▽優勝 岡本とく(大塚) ▽準優勝 石橋利子(大塚) ▽三位 底節子(上曹)

【敬称略】

柿中の市塚君県発明工夫展で特賞

第四十五回県発明工夫展に出品された作品の審査会が十月二十二日県民文化センターで行われました。

県展に出品された作品は児童・生徒・学生の部と一般・教職員の部あわせて百二十点。その中の児童・生徒・学生の部で柿岡中二年市塚貴志君が特賞に選ばれました。

市塚君の作題名は「二輪車補助車」で、夏休みの発明工夫で出品した作品です。バランスの安定が難しい一輪車に補助車を付けて、安定性を保とうと考えられています。どうしてこのような発想がわいたのか訪ねたところ「以前からおはあ



十月二十七日ひたちなか市総合運動公園体育館で行われたドッジボールの茨城新聞社杯第四回県選手権大会に吉生小子ども会吉生だっぺが出場し、見事初優勝を飾りました。

「大会前の正式メンバーでの練習はたったの二回です。ほかに子どもたちは学校の休み時間を利用して練習していたようですが、それが大会に生かせられたのではないでしょうか」と語る関先生。大会では選手たちのびのびとしたプレーが勝利に結びついたようです。

吉生だっぺドッジボールで県大会優勝

また、吉生だっぺというチーム名は、昨年、当時六年生だった子どもたちによって付けられたもの。「一度聞いたらかなか忘れない」と子どもたちの間でもこのユニークな名前が話題になっているようです。

関東大会は今年の十二月八日に千葉県浦安市で行われます。子どもたちは現在大会に向けて週に一回、はりきって練習に打ち込んでいます。次の大会でもさらに力を発揮してくれることでしょう。



八郷町民文化誌「ゆう」10号を刊行

一九九二年に創刊された八郷町民文化誌「ゆう」は、年一回の刊行で、二十一世紀に入った今年（十月十日発行）で十号となりました。

「ゆう」は執筆、取材協力、情報提供、資料提供、広告による援助など、多くの方々に支えられ、みんなで力を合わせて作る、八郷産の手作りの本です。発行は「ゆう」刊行委員会、委員が編集委員も兼ねています。原稿集め、取材、写真、広告、編集から版下作りまで、一切の作業を編集委員がボランティアでこなし、外注に出すのは印刷だけです。一度手にとってご覧ください。

頒価 千円

問い合わせ先

富田 TEL 四二一三八八一



広報やさとの編集が終わつてみると、十一月号はスポーツの話題でいっぱいなことに気がつきました。スポーツの秋とはよく言ったものです。食欲の秋というところで食べ物取材ばかりもいいだろうな、と個人的に思いました。（且

町民武道大会

柔・剣・弓道で熱戦を展開

十月七日八郷町総合運動公園を会場に、第四十二回町民武道大会が行われ、二百三十余人が集まりました。大会で選手たちは、日ごろの練習の成果を発揮しようと力を出しきりました。大会の結果は次のとおりです。

柔道

団体〔中学男子の部〕▽優勝Aブロック・柿岡中A、Bブロック・園部中B▽準優勝Aブロック・園部中A、Bブロック・柿岡中C▽三位Aブロック・柿岡中B、Bブロック・有明中A 個人〔一般の部〕▽優勝小松崎浩一▽準優勝今井弘和▽三位成田勝〔中学男子一年の部〕▽優勝大瀬貴文▽準優勝岡野成将▽三位木村喜浩・中尾鷹人〔中学男子二年の部〕▽優勝岩田智史▽準優勝小松崎友章▽三位田谷野行助・飯田昌也〔中学女子の部〕▽優勝泉江里子▽準優勝中村愛美〔小学低学年の部〕▽優勝川島達宏▽準優勝成田祥樹▽三位水野裕貴・大橋優樹〔小学高学年男子の部〕▽優勝水野貴至▽

剣道

準優勝飯塚勇太▽三位小池達也・麻生啓太〔小学高学年女子の部〕▽優勝泉聖子▽準優勝本田知子▽三位萩之谷藍・須藤由実 団体〔中学の部〕▽優勝園部中男子A▽準優勝八郷南中▽三位園部中男子B・柿岡中〔小学の部〕▽優勝有明剣友会A▽準優勝林少年剣道教室A▽三位園部剣友会A・小幡剣道教室A〔中学男子一年の部〕▽優勝松崎達也▽準優勝酒井達也▽三位河村祐毅・高橋一至〔中学男子二年の部〕▽優勝鈴木利充▽準優勝岡安雄大▽三位土橋潤也・諏訪庄太〔中学女子一年の部〕▽優勝中里有希▽準優勝元吉由香▽三位真原由加里・笹沼宏美〔中学女子二年の部〕▽優勝磯村美紀▽準優勝荒木麻美▽三位大田菜都・元吉美穂〔小学三年以下の部〕▽優勝大関直人▽準優勝久保田湧也▽三位松崎捺季・斎藤友紀恵〔小学四年の部〕▽優勝斎藤啓輝▽準優勝田中絵梨▽三位小池拓矢・榊桃子〔小学五年の部〕▽優勝斎藤巧▽準優勝佐藤佑香▽三位川松達矢・久保田誠司〔小学六年の部〕▽優勝阿部壮太郎▽準優勝長谷川友維▽三位藤岡浩平・蘭部誠

弓道

団体〔一般の部〕▽優勝八郷B▽準優勝土浦工業高校▽三位新治A個人〔金的〕▽優勝沼野茂男〔射詰（一般）〕▽優勝足立喜次〔射詰（高校）〕▽優勝美濃智明〔射詰（一般）〕▽優勝石塚光司▽準優勝渡辺満男▽三位関口博道〔射詰（高校）〕▽優勝美濃智明▽準優勝久保田雄▽三位荒井慶彦〔射詰（中学）〕▽優勝飯田梨絵▽準優勝日高祐美▽総合優勝美濃智明

敬称略



剣道

八郷クラブ

ソフトバレーでジャパンカップ出場

十一月三日、四日の二日間、

山形県鶴岡市の鶴岡市小真木原総合運動公園体育館を会場に「第七回ジャパンソフトバレーボール鶴岡フェスティバル」が開催されました。同フェスティバルはシルバークラスとゴールドクラスに分けて行われ、全国各地から合わせて百二十八チームが参加しました。茨城県からはシルバークラスの部に八郷クラブが一チーム参加しました。



「全国のレベルを感じましたよ」と大会を終えて選手の大崎由紀さんは話します。大会では惜しくも予選リーグで敗退してしまいましたが「選手たちはよくがんばってくれました。初めから全国のチームが集まる大きな大会が経験できてよかったと思います。しかし負けたことは相当くやしかったです」と苦笑いの大崎さん。

八郷クラブは三十年前にバレーボールのクラブチームとして結成し、現在に至っています。ソフトバレーボールを取り入れたのはここ三年ぐらいで、大会に向けての正式なチームを結成したのは今年の八月です。大崎さんは「ソフトバレーボールの公式試合では男女混成が基本。規定に沿って選手を選ばなくてはならないので今回の大会の選手選びも苦労しました」と語ります。

→大会に出場した選手のみならず、前列左から平岡千恵子さん（宇治会）、大崎由起さん（柿岡）、市村寿子さん（小息）、後列左から駒場一吉さん（柿岡）、岡本恵次さん（柿岡）、小林靖夫さん（須釜）

来年の二月にはソフトバレーの関東大会が行われます。大会に向けてさらに息の合ったチームワークを見せてくれることでしょう。